

# 参 考 資 料

- ・ いも類の主産国及び主産県
- ・ 主ないも類及び関連製品の貿易動向
- ・ 世界におけるじゃがいもの生産・消費動向
- ・ 日本及び北海道におけるじゃがいもの生産の推移
- ・ 北海道における主要品種一覧
- ・ じゃがいもの支庁別、品種別作付面積
- ・ 北海道産じゃがいもの用途別消費実績
- ・ じゃがいもの消費の推移
- ・ 各段階（生産・卸・小売）におけるじゃがいもの価格の推移
- ・ じゃがいも及び関連製品の輸入の推移
- ・ 馬鈴しょでん粉の生産の動向
- ・ 種馬鈴しょの生産動向
- ・ じゃがいもの主な栄養成分（可食部100g当たり）
- ・ 北海道におけるじゃがいもの栽培歴

いも類の主産国及び主産県

1. 全世界及び収穫量上位5カ国(2007年)

(単位: ha、kg、千t)

品目	国名	収穫面積	10a当たり収量	収穫量
じゃがいも				
	世界	19,327,261	1,665	321,736
	中国	5,001,600	1,440	72,040
	ロシア	2,862,500	1,285	36,784
	インド	1,600,000	1,643	26,280
	ウクライナ	1,452,400	1,315	19,102
	米国	456,000	3,871	17,654
さつまいも				
	世界	9,093,081	1,389	126,300
	中国	4,761,003	2,147	102,240
	ナイジェリア	1,030,000	339	3,490
	ウガンダ	578,000	450	2,602
	インドネシア	173,179	1,056	1,829
	ベトナム	180,000	806	1,450
タロイモ				
	世界	1,816,171	658	11,949
	ナイジェリア	725,000	757	5,485
	ガーナ	261,000	637	1,662
	中国	89,800	1,832	1,645
	カメルーン	205,000	553	1,133
	コートジボワール	262,000	135	355
ヤムイモ				
	世界	4,638,933	1,120	51,948
	ナイジェリア	3,070,000	1,210	37,150
	コートジボワール	550,000	891	4,900
	ガーナ	299,000	1,187	3,550
	ベナン	196,000	1,143	2,240
	トーゴ	63,000	1,000	630
キャッサバ				
	世界	18,664,658	1,222	228,138
	ナイジェリア	3,850,000	1,188	45,750
	ブラジル	1,944,834	1,404	27,313
	タイ	1,152,199	2,292	26,411
	インドネシア	1,206,904	1,625	19,610
	コンゴ	1,850,000	811	15,000

2. 全国及び収穫量上位5県(2007年)

(単位: ha、kg、千t)

品目	都道府県	作付面積	10a当たり収量	収穫量
じゃがいも				
	全国	87,400	3,290	2,873
	北海道	56,900	3,940	2,242
	長崎	4,090	2,700	111
	鹿児島	4,560	2,050	93
	茨城	1,590	2,850	45
	千葉	1,530	2,350	36
さつまいも				
	全国	40,700	2,380	968
	鹿児島	14,000	2,640	370
	茨城	6,500	2,640	172
	千葉	5,030	2,620	132
	宮崎	3,000	2,440	73
	徳島	1,220	2,490	30
(備考) 北海道の作付面積は19ha				
さといも				
	全国	14,100	1,230	174
	千葉	1,930	1,280	25
	宮崎	1,060	1,720	18
	埼玉	770	2,090	16
	鹿児島	768	1,250	10
	栃木	629	1,390	9
やまのいも				
	全国	8,250	2,310	190
	青森	2,680	2,700	72
	北海道	1,930	3,380	65
	長野	360	2,660	10
	千葉	585	1,440	8
	群馬	596	1,300	8

資料: FAO「FAOSTAT」、農林水産省「野菜生産出荷統計」、「作物統計」

注1: 農林水産省の統計では、「ばれいしょ」「かんしょ」と表記しているが、ここでは本文と合わせて、それぞれ、「じゃがいも」「さつまいも」としている。

注2: さつまいもについて、全国の収穫量は、主産県調査結果と主産県以外の推計値を合計したものである。

主ないも類及び関連製品の貿易動向

1. 全世界及び輸出量上位3カ国  
(2005年)

(単位:千t、千ドル、ドル/t)

品目	国名	輸出量	輸出額	単価
じゃがいも(生・冷蔵)				
	世界	8,891	1,878	211
	オランダ	1,504	358	238
	フランス	1,488	314	211
	ドイツ	1,281	147	115
冷凍じゃがいも				
	世界	4,379	3,124	713
	オランダ	1,223	898	735
	カナダ	956	671	702
	ベルギー	768	491	639
じゃがいも粉				
	世界	309	311	1,006
	オランダ	75	80	1,073
	ドイツ	60	63	1,051
	米国	56	51	909
さつまいも				
	世界	129	78	604
	米国	33	25	768
	中国	27	11	417
	インドネシア	11	5	412
乾燥キャッサバ				
	世界	3,933	469	119
	タイ	3,031	318	105
	ベトナム	534	61	115
	インドネシア	230	25	111
キャッサバでん粉				
	世界	1,556	276	177
	タイ	1,353	221	163
	香港	77	21	268
	インドネシア	72	13	187

2. 全世界及び輸入量上位3カ国  
(2005年)

(単位:千t、千ドル、ドル/t)

品目	国名	輸入量	輸入額	単価
じゃがいも(生・冷蔵)				
	世界	9,168	2,090	228
	オランダ	1,626	169	104
	ベルギー	1,112	165	148
	スペイン	750	176	234
冷凍じゃがいも				
	世界	3,950	2,998	759
	米国	746	516	692
	英国	415	313	755
	フランス	396	281	708
(備考)日本の輸入量は281千t(第4位)				
じゃがいも粉				
	世界	308	339	1,100
	英国	36	41	1,144
	イタリア	31	34	1,105
	ベルギー	23	25	1,086
(備考)日本の輸入量は21千t(第4位)				
さつまいも				
	世界	144	98	684
	英国	25	29	1,162
	カナダ	25	19	751
	シンガポール	17	4	206
(備考)日本の輸入量は14千t(第4位)				
乾燥キャッサバ				
	世界	4,115	565	137
	中国	3,346	422	126
	韓国	265	35	131
	スペイン	254	29	114
キャッサバでん粉				
	世界	1,406	360	256
	中国	761	190	249
	マレーシア	121	29	237
	インドネシア	103	24	238
(備考)日本の輸入量は99千t(第4位)				

資料:FAO「FAOSTAT」、財務省「貿易統計」

注:財務省の統計では、「ばれいしょ」「かんしょ」「マニオカ(カッサバ)でん粉」と表記しているが、ここでは本文と合わせて、それぞれ、「じゃがいも」「さつまいも」「キャッサバでん粉」としている。

世界におけるじゃがいもの生産・消費動向

1. 生産の動向

(1) 作付面積

(単位：千ha)

1990		2007	
順位	国・地域	順位	国・地域
	世界		世界
	17,624		19,327
	アジア		アジア
	4,812		8,701
2	中国	1	中国
	2,829		5,002
4	インド	3	インド
	940		1,600
10	トルコ	9	バングラデシュ
	192		310
17	イラン	14	イラン
	149		210
23	バングラデシュ	15	北朝鮮
	117		190
26	ネパール	19	トルコ
	83		159
28	パキスタン	20	カザフスタン
	80		155
北中米	771	21	ネパール
			154
6	米国	27	パキスタン
	555		132
21	カナダ	北中米	696
	120		
27	メキシコ	6	米国
	81		456
カリブ諸国	21	18	カナダ
			159
南米	805	カリブ諸国	16
15	コロンビア	南米	875
	161		
16	ブラジル	13	ペルー
	158		269
18	ペルー	23	ブラジル
	146		143
22	ボリビア	25	ボリビア
	120		136
30	アルゼンチン	30	コロンビア
	79		110
ヨーロッパ	10,436	ヨーロッパ	7,492
1	ソ連	2	ロシア
	5,830		2,863
3	ポーランド	4	ウクライナ
	1,835		1,452
5	ドイツ	5	ポーランド
	561		570
7	ユーゴスラビア	7	ベラルーシ
	293		413
8	ルーマニア	8	モルドバ
	290		354
9	スペイン	10	ルーマニア
	271		283
11	英国	11	ドイツ
	177		276
12	オランダ	16	オランダ
	175		161
13	チェコスロバキア	22	フランス
	164		145
14	フランス	24	英国
	164		139
19	イタリア	アフリカ	1,503
	120		
20	ポルトガル	12	ナイジェリア
	120		270
アフリカ	730	17	マラウイ
			160
24	アルジェリア	26	ルワンダ
	102		133
25	ケニア	28	アンゴラ
	88		120
29	エジプト	29	ケニア
	80		120
オセアニア	49	オセアニア	44
(備考)			
	日本		日本
	115.8		87.4

(2) 収穫量

(単位：千t)

1990		2007	
順位	国・地域	順位	国・地域
	世界		世界
	266,628		321,736
	アジア		アジア
	64,187		135,608
3	中国	1	中国
	32,031		72,040
5	インド	3	インド
	14,771		26,280
11	トルコ	12	イラン
	4,300		5,240
15	イラン	14	バングラデシュ
	2,516		4,300
北中米	22,814	15	トルコ
			4,281
4	米国	20	パキスタン
	18,239		2,622
13	カナダ	23	カザフスタン
	3,004		2,415
25	メキシコ	25	ネパール
	1,286		1,943
カリブ諸国	257	28	北朝鮮
			1,900
南米	9,643	北中米	24,596
16	コロンビア	5	米国
	2,464		17,654
18	ブラジル	13	カナダ
	2,234		4,971
22	アルゼンチン	カリブ諸国	361
	1,598		
30	ペルー	南米	13,792
	1,154		
ヨーロッパ	160,267	17	ブラジル
			3,394
1	ソ連	18	ペルー
	63,608		3,388
2	ポーランド	24	アルゼンチン
	36,313		1,950
6	ドイツ	27	コロンビア
	14,471		1,900
7	オランダ	ヨーロッパ	129,396
	7,036		
8	英国	2	ロシア
	6,467		36,784
9	スペイン	4	ウクライナ
	5,331		19,102
10	フランス	6	ドイツ
	4,754		11,605
12	ルーマニア	7	ポーランド
	3,186		11,221
14	チェコスロバキア	8	ベラルーシ
	2,534		8,744
17	イタリア	9	オランダ
	2,309		7,200
19	ユーゴスラビア	10	フランス
	2,188		6,271
20	ベルギー ルクセンブルク	11	英国
	1,862		5,635
23	デンマーク	16	ルーマニア
	1,483		3,498
24	ポルトガル	19	ベルギー
	1,343		2,878
27	ハンガリー	22	スペイン
	1,226		2,502
28	スウェーデン	アフリカ	16,324
	1,186		
アフリカ	8,017	21	エジプト
			2,600
21	エジプト	26	アルジェリア
	1,638		1,900
26	南アフリカ	29	マラウイ
	1,261		1,900
オセアニア	1,442	30	南アフリカ
			1,900
29	オーストラリア	オセアニア	1,659
	1,178		
(備考)			
	日本		日本
	3,552		2,873

資料：FAO「FAOSTAT」、農林水産省「野菜生産出荷統計」「食料需給表」

注：記載に当たっては、各データについて、日本を除いた上位30カ国FAOSTATの区分に従い地域ごとに並べ替えた。国・地域の構成に変化（ソ連の解体等）があるため各年、各地域の比較には注意が必要である。

## 2. 消費の動向

### (1) 消費量(国全体、食用向け)

(単位：千 t)

1990		2003			
順位	国・地域	消費量	順位	国・地域	消費量
	世界	139,968		世界	206,605
	アジア	37,773		アジア	91,375
3	中国	12,765	1	中国	46,168
4	インド	10,756	3	インド	18,442
10	トルコ	3,570	9	トルコ	4,204
12	イラン	2,139	12	イラン	3,175
27	バングラデシュ	838	14	バングラデシュ	2,781
	北中米	17,674	24	パキスタン	1,580
2	米国	14,062	26	北朝鮮	1,376
13	カナダ	2,087	29	ネパール	1,245
22	メキシコ	1,112	北中米	24,188	
	カリブ諸国	271	2	米国	18,731
	南米	7,221	13	カナダ	2,817
14	ブラジル	1,777	20	メキシコ	1,782
15	コロンビア	1,758	カリブ諸国	479	
18	アルゼンチン	1,361	南米	10,502	
30	ペルー	712	15	ブラジル	2,697
	ヨーロッパ	40,975	18	コロンビア	2,064
1	ソ連	28,860	19	ペルー	1,959
5	ドイツ	6,428	23	アルゼンチン	1,677
6	英国	6,076	ヨーロッパ	68,129	
7	ポーランド	5,480	4	ロシア	17,997
8	スペイン	4,220	5	英国	7,185
9	フランス	4,086	6	ウクライナ	6,810
11	イタリア	2,421	7	ドイツ	5,947
16	オランダ	1,459	8	ポーランド	5,022
17	ルーマニア	1,379	10	フランス	3,896
19	ポルトガル	1,352	11	スペイン	3,227
20	チェコスロバキア	1,262	16	イタリア	2,350
23	ベルギー・ルクセンブルク	1,091	17	ルーマニア	2,146
24	ユーゴスラビア	1,051	21	ベラルーシ	1,712
29	ギリシャ	741	25	オランダ	1,397
	アフリカ	6,209	28	ポルトガル	1,254
21	エジプト	1,197	アフリカ	11,054	
26	南アフリカ	948	22	アルジェリア	1,691
28	アルジェリア	754	27	エジプト	1,347
	オセアニア	1,255	30	モロッコ	1,188
25	オーストラリア	1,041	オセアニア	1,359	
(備考)					
	日本	2,127		日本	2,121

### (2) 消費量(国民1人当たり)

(単位：kg/年)

1990		2003			
順位	国・地域	1人当たり消費量	順位	国・地域	1人当たり消費量
	世界	26		世界	32
	アジア	12		アジア	23
19	トルコ	61	2	キルギス	140
28	レバノン	50	17	レバノン	87
30	キプロス	45	19	アルメニア	84
	北中米	41	24	アゼルバイジャン	73
13	カナダ	75	北中米	48	
26	米国	54	15	カナダ	89
	カリブ諸国	9	カリブ諸国	14	
	南米	24	南米	29	
21	ボリビア	60	26	ペルー	72
27	チリ	51	ヨーロッパ	93	
28	コロンビア	50	1	ベラルーシ	172
	ヨーロッパ	82	2	ウクライナ	140
1	ポーランド	143	4	ラトビア	139
2	ポルトガル	136	5	ポーランド	130
3	アイルランド	126	6	ロシア	125
4	スペイン	107	7	ポルトガル	124
5	英国	106	9	エストニア	120
6	ベルギー・ルクセンブルク	105	9	英国	120
7	ソ連	99	11	アイルランド	119
8	オランダ	97	11	リトアニア	119
9	フィンランド	82	13	クロアチア	96
10	チェコスロバキア	81	13	ルーマニア	96
11	ドイツ	80	18	オランダ	86
12	ノルウェー	77	20	ベルギー	83
13	デンマーク	75	21	スペイン	78
15	フランス	72	22	デンマーク	76
15	ギリシャ	72	23	ノルウェー	75
17	スウェーデン	71	24	ボスニア・ヘルツェゴビナ	73
18	オーストリア	62	26	ドイツ	72
22	ルーマニア	59	28	フィンランド	71
23	ハンガリー	57	28	スロバキア	71
24	アイスランド	56	アフリカ	13	
	アフリカ	10	8	ルワンダ	122
	オセアニア	47	16	マラウイ	88
19	オーストラリア	61	オセアニア	43	
24	ニュージーランド	56	30	ニュージーランド	70
(備考)					
	日本	17.2		日本	16.6

注：消費量及び1人当たり消費量は、粗食料ベース（皮など通常廃棄される部分が含まれる）。

## 日本及び北海道におけるじゃがいも生産の推移

(単位：ha、kg、t、%)

年	西 曆	全国			北海道		
		作 付 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	作 付 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量 ( )は全国シェア
明.20	1887	16,400	650	106,400	2,317	994	32,021 (30)
30	1897	28,600	760	219,500	10,169	1,074	109,238 (50)
40	1907	58,300	950	552,700	23,836	1,093	260,096 (47)
大.5	1916	102,700	1,020	1,051,000	57,869	1,100	637,160 (61)
昭.元	1926	96,600	890	857,600	45,036	821	369,182 (43)
10	1935	139,300	900	1,250,000	66,855	775	519,370 (42)
20	1945	213,100	830	1,772,000	78,376	760	595,751 (34)
25	1950	192,400	1,270	2,442,000	75,460	1,524	1,148,600 (47)
30	1955	211,100	1,380	2,908,000	86,040	1,354	1,165,000 (40)
35	1960	204,300	1,760	3,594,000	89,300	2,015	1,798,000 (50)
40	1965	212,500	1,910	4,056,000	92,800	2,380	2,211,000 (55)
45	1970	158,800	2,270	3,611,000	69,800	3,100	2,166,000 (60)
50	1975	139,400	2,340	3,261,000	71,400	2,930	2,090,000 (64)
51	1976	137,600	2,720	3,742,000	72,700	3,640	2,648,000 (71)
52	1977	131,400	2,680	3,520,000	67,700	3,560	2,409,000 (68)
53	1978	128,100	2,590	3,316,000	64,900	3,380	2,194,000 (66)
54	1979	125,100	2,700	3,381,000	63,600	3,640	2,316,000 (69)
55	1980	123,400	2,770	3,421,000	64,700	3,740	2,421,000 (71)
56	1981	125,600	2,460	3,095,000	67,900	2,980	2,021,000 (65)
57	1982	127,200	2,970	3,775,000	69,700	3,850	2,683,000 (71)
58	1983	127,800	2,790	3,566,000	70,900	3,570	2,534,000 (71)
59	1984	130,900	2,830	3,707,000	75,900	3,620	2,744,000 (74)
60	1985	130,100	2,860	3,727,000	75,900	3,560	2,703,000 (73)

資料：農林水産省「作物統計」（平成2年産まで）、「野菜生産出荷統計」（平成3年産以降）、北海道統計（北海道分、昭和23年産まで）

注1：昭和45年以前の全国には沖縄を含まない。

注2：作付面積の最高は、全国が234,500ha（昭和24年）、北海道が96,800ha（36年）であり、収穫量の最高は、全国が4,073,000t（61年）、北海道が3,064,000t（61年）である。

(単位：ha、kg、t、%)

年 度	西 曆	全国			北海道		
		作 付 面 積	10a当たり 収 穫 量	収 穫 量	作 付 面 積	10a当たり 収 穫 量	収 穫 量 ( )は全国シェア
61	1986	130,100	3,130	4,073,000	77,100	3,970	3,064,000 (75)
62	1987	127,500	3,100	3,955,000	74,900	3,990	2,986,000 (75)
63	1988	124,700	3,020	3,763,000	72,700	3,900	2,832,000 (75)
平.元	1989	119,800	2,990	3,587,000	68,900	3,750	2,586,000 (72)
2	1990	115,800	3,070	3,552,000	67,500	3,850	2,598,000 (73)
3	1991	111,800	3,230	3,609,000	66,000	4,200	2,769,000 (77)
4	1992	111,400	3,140	3,494,000	67,300	3,870	2,605,000 (75)
5	1993	111,200	3,050	3,390,000	68,700	3,770	2,592,000 (76)
6	1994	108,200	3,120	3,377,000	67,200	3,840	2,579,000 (76)
7	1995	104,400	3,220	3,365,000	65,100	3,990	2,597,000 (77)
8	1996	103,000	3,000	3,086,000	64,600	3,610	2,333,000 (76)
9	1997	103,000	3,300	3,395,000	65,000	4,040	2,623,000 (77)
10	1998	99,900	3,080	3,073,000	62,800	3,810	2,388,000 (78)
11	1999	97,700	3,030	2,963,000	61,400	3,670	2,255,000 (76)
12	2000	94,600	3,060	2,899,000	59,100	3,660	2,161,000 (75)
13	2001	92,900	3,190	2,959,000	58,200	3,920	2,278,000 (77)
14	2002	92,100	3,340	3,074,000	57,900	4,060	2,349,000 (76)
15	2003	88,300	3,330	2,939,000	55,600	4,110	2,286,000 (78)
16	2004	87,200	3,310	2,888,000	55,400	4,040	2,235,000 (77)
17	2005	86,900	3,170	2,752,000	55,700	3,860	2,150,000 (78)
18	2006	86,600	3,050	2,643,000	55,700	3,630	2,022,000 (77)
19	2007	87,400	3,290	2,873,000	56,900	3,940	2,242,000 (78)

## 北海道における主要品種一覧

### 1. 北海道優良品種

番号	品種名	来歴	花の色
1	男爵薯 [生食]	明治41年頃亀田郡七重の農場主、川田男爵が導入	淡赤紫で先白
2	メークイン [生食]	大正6～7年頃、府県から移入	紫に白絞り
3	紅丸 [でん粉]	昭和4年北農試本場で交配	白
4	農林1号 [加工・生食]	昭和12年北農試本場で交配後、島松試験地で育成	白
5	エニワ [でん粉]	昭和27年北農試(島松)で交配	白
6	ワセシロ [加工・生食]	昭和37年根釧農試で交配	紫
7	トヨシロ [加工]	昭和35年北農試(島松)で交配	白
8	ホッカイコガネ [加工・生食]	昭和45年北農試(島松)で交配	淡紫
9	コナフブキ [でん粉]	昭和46年北農試(島松)で交配後、根釧農試で育成	極淡い赤紫
10	キタアカリ [生食]	昭和50年北農試(島松)で交配	赤紫で先白
11	とうや [生食]	昭和56年北農試(島松)で交配	白
12	ムサマル [でん粉・加工]	昭和55年根釧農試で交配	赤紫で先白
13	アトランチック [加工]	昭54年カルビーポテト(株)が米国から導入	淡青紫
14	マチルダ [生食]	昭和60年ホクレンがスウェーデンから導入	白
15	アスタルテ [でん粉]	昭和61年ホクレンと北海道澱粉工業協会がオランダから導入	赤紫で先白
16	サクラフブキ [でん粉]	昭和58年根釧農試で交配	赤紫で先白
17	ベニアカリ [でん粉・加工]	昭和59年北農試(島松)で交配	赤紫で先白
18	さやか [生食]	昭和58年北農試(島松)で交配	白
19	アーリースターチ [でん粉]	昭和54年北農試(島松)で交配	濃赤紫
20	花標津 [生食]	昭和59年根釧農試で交配	赤紫
21	スノーデン [加工]	平成2年カルビーポテト(株)が米国から導入	白
22	十勝こがね [生食]	昭和61年北農試(島松)で交配	白
23	ユキラシャ [生食]	平成3年北農試(島松)で交配	白
24	きたひめ [加工]	平成3年北農試(島松)で交配後、ホクレンで育成	白
25	ナツフブキ [でん粉]	平成4年根釧農試で交配後、北見農試で育成	赤紫で先白
26	ひかる [生食]	平成5年ホクレンで交配	紫
27	オホーツクチップ [加工]	平成3年根釧農試で交配後、北見農試で育成	白
28	スノーマーチ [生食]	平成5年根釧農試で交配後、北見農試で育成	白
29	キタムラサキ [生食・加工]	平成3年北農試(島松)で交配	白
30	ゆきつばら [生食]	平成3年根釧農試で交配後、北見農試で育成	白



いもの 形 状	皮の色	肉 色	シスト セン チュウ 抵抗性	その他	番号
球形	白黄	白		・中心空洞多い	1
長楕円体	白黄	黄白		・グリコアルカロイド含量が多い	2
扁球～卵形	淡赤	白		・でん粉品質最良 ・二次生長しやすい	3
扁球形	白黄	白		・青枯病に強い ・調理後黒変多	4
扁球形	淡黄褐	白		・粉状そうか病に強 ・耐湿性强 ・中心空洞中、褐色心腐少	5
扁卵形	淡黄白	白		・早掘ポテトチップに適 ・乾腐病に弱	6
扁卵形	黄褐	白		・調理後黒変少でポテトチップに適	7
長楕円体	淡褐	淡黄		・還元糖含量低 ・調理後黒変少でフライ加工に適	8
扁球形	白黄(赤目)	白		・でん粉収量多	9
扁球形	黄(赤目)	黄		・ビタミンC含量多	10
球形	黄褐	黄		・サラダ、煮物に適 ・裂開の発生有	11
卵形	黄褐	淡黄		・調理後黒変微でフライ加工に適 ・褐色心腐の発生有	12
球形	淡褐	黄白		・ポテトチップ加工に適 ・褐色心腐発生しやすい	13
卵形	黄	黄白		・ホールポテト、サラダ等完熟小粒用途に適 ・疫病抵抗性强	14
卵形	白黄	黄白		・でん粉品質良	15
扁球形	黄褐(赤目)	白		・でん粉のリン含量が高く固有用途に不向	16
楕円体	淡赤	白		・コロケ、マッシュに適、煮物不適	17
卵形	白	白		・サラダ、煮物に適 ・緑化いもの発生少	18
扁球形	白黄	白		・早期収穫に適 ・最終でん粉収量は低	19
扁球形	淡赤(赤目)	淡黄		・疫病抵抗性强で減農薬栽培可	20
球形	褐	白		・9 長期貯蔵後のチップ加工適性が優れる	21
楕円体	白黄	淡黄		・調理適性に優れる ・中心空洞の発生有	22
楕円体	褐	白		・そうか病抵抗性强 ・貯蔵性良、一次加工適	23
球形	黄白	白		・6 低温長期貯蔵後のチップ品質が優れる	24
球形	黄褐	白		・早掘でん粉用に適	25
扁球形	黄褐	淡黄		・調理後黒変微 ・サラダ用に適	26
球形	褐	白		・早生チップ適性が優れる ・そうか病抵抗性中	27
倒卵形	白黄	白		・そうか病抵抗性が強	28
倒卵形	紫	紫		・紫肉色でアントシアニン色素含量多	29
扁球形	白黄	白		・早生白肉でサラダ適性がある	30

## 北海道優良品種等（つづき）

番号	品種名	来 歴	花の色
31	らんらんチップ [加工]	平成3年北農試(島松)で交配	白
32	さやあかね [生食]	平成7年根釧農試で交配後、北見農試で育成	赤紫
33	こがね丸 [加工]	平成7年北農試で交配	赤紫
34	はるか [生食]	平成6年長崎県で交配後、平成10年北農試で育成	淡赤紫で先白
35	きたかむい [生食]	平成9年ホクレン農業総合研究所で交配	白
36	アンドーバー [生食・加工]	平成7年カルビーポテト(株)が米国から導入	白

## 2. 地域在来品種等

番号	品種名	来 歴	花の色
1	レッドムーン [生食]	昭和57年(株)サカタのタネが米国から導入した種子から選抜、育成	赤紫
2	インカのみざめ [生食・加工]	昭和63年北農試(島松)で交配	紫
3	プレバレント [生食・加工]	昭和61年ホクレンと北海道澱粉工業協会がオランダから導入	濃紫で先白
4	アンデス赤 [生食]	昭和47年名城大学で交配	淡赤紫
5	インカパープル [生食・加工]	平成2年北農試(島松)で交配	紫
6	インカレッド [生食・加工]	平成2年北農試(島松)で交配	白
7	シェポディー [加工]	昭和55年カルビーポテト(株)がカナダから導入	赤紫
8	ノーキングラセット [加工]	昭和60年カルビーポテト(株)が米国から導入	紫
9	529-1 [生食]	GHQのE.J.wheelerが米国から持参	白
10	北海50号 [生食]	昭和37年北農試(島松)で交配	白
11	スタールビー [生食]	平成3年北農試(島松)で交配	赤紫
12	ジャガキッズレッド90 [生食]	平成2年キリンビール(株)で育成	紫で先白
13	ジャガキッズパープル90 [生食]	平成2年キリンビール(株)で育成	紫で先白
14	シンシア [生食]	平成9年キリンビール(株)がフランスから導入	白
15	ノーザンルビー [生食]	平成5年北農試で採種・選抜	白
16	シャドークイーン [生食]	平成5年北農試で採種・選抜	白
17	インカのひとみ [生食]	平成7年北農試で採種・選抜	赤紫
18	北海98号 [生食]	平成13年北農研で発見・選抜	紫

注：「北農試」「北農研」は現・独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター、「根釧農試」は北海道立根釧農業試験場、「北見農試」は同北見農業試験場のこと。

いもの 形 状	皮の色	肉 色	シスト セ ン チュウ 抵抗性	その他	番号
倒卵形	黄褐	黄白		・チップカラーが優れる	31
扁球形	淡赤	黄白		・疫病ほ場抵抗性が強 ・疫病無防除栽培が可能	32
楕円体	黄褐	淡黄		・フライ加工に適 ・でん粉価高く大粒で多収	33
倒卵形	白(赤目)	白		・サラダ用・コロッケ用に適 ・青枯病抵抗性强	34
球形	白黄	白		・早生白肉丸いもで中心空洞少なく、調理品質が優れる	35
球形	黄褐	白		・早堀でもチップ加工適性が優れる ・9 貯蔵後のチップ加工適性が優れる	36

いもの 形 状	皮の色	肉 色	シスト セ ン チュウ 抵抗性	その他	番号
楕円体	赤	黄		・調理後黒変極少 ・皮色を生かしたサラダ等一次加工に適	1
卵形	黄褐	濃黄		・栗風味で菓子等にも適 ・低温貯蔵でショ糖増加	2
球形	淡黄	淡黄		・調理後黒変少 ・粉質でマッシュに適	3
球形	赤	黄		・長期貯蔵不適 ・カロテノイド含量多	4
楕円体	紫	紫		・アントシアニン色素 ・紫ポテトチップ原料	5
楕円体	淡赤	赤		・アントシアニン色素 ・赤ポテトチップ原料	6
長楕円体	白黄	白		・調理後黒変無 ・油加工適性中	7
楕円体	褐	白		・そうか病に強 ・油加工適性中	8
長球形	白黄	白		・調理後黒変少 ・おでん等煮物用に適	9
球形	淡黄白	白		・調理後黒変無 ・塊茎肥大極早で早堀に適	10
扁球形	赤	黄		・中心空洞の発生有	11
球形	赤	黄		・マイクロチューバーによる原種生産	12
球形	紫	黄に紫輪		・マイクロチューバーによる原種生産	13
長楕円体	白黄	淡黄		・目が浅く、煮くずれが少ない	14
長楕円体	赤	赤		・アントシアニン色素 ・赤肉色の生食用	15
長楕円体	紫	濃紫		・アントシアニン色素含量が多	16
倒卵形	淡赤(黄目)	橙黄		・カロテノイド含量多 ・橙肉色でナッツフレーバー	17
倒卵形	淡赤	橙		・カロテノイド含量多 ・橙肉色でナッツフレーバー	18

じゃがいもの支庁別、品種別作付面積

支庁名	年産	生 食 主 用 途						加 工 主											
		男爵薯	メークイン	ワシ	セロ	キタアカリ	とうや	小計	トシ	ヨロ	ホカコガネ	ツイマ	ムサル	アラチック	トンク	マル	チダ	ベアカリ	ニ
石 狩	12	636	64			100	14	814	60										
	17	415	59		5	134	22	635	63										
	18	409	51			126	11	597	85										
渡 島	12	661	326	168		4	10	1,169	11	72		1		75		7			
	17	422	136	63		50	22	693	151	73				65					
	18	367	152	56		68	13	656	206	38				85					
檜 山	12	677	946			4		1,627		13									
	17	617	665	6		8	4	1,300		10									
	18	610	741	9		15	15	1,390		10									
後 志	12	4,080	11	60		358	30	4,539	9										
	17	3,712	10	12		460	184	4,378											
	18	3,740	10	6		491	153	4,400	2										
空 知	12	789	180	45		85	23	1,122	7	6									6
	17	493	100	9		158	87	847	12	97									4
	18	437	89	14		167	72	779	9	46									4
上 川	12	1,770	60	142		247		2,219	469	10				57					
	17	1,398	63	82		301	23	1,867	804	25				2					6
	18	1,320	71	48		286	70	1,795	659	4									7
留 萌	12	84	15			2		101											
	17	51	12			6	3	71											
	18	47	12			8		67	0										
宗 谷	12	5				5		10											
	17	1			1	2		4											
	18	1				2		3											
網 走	12	3,910	187	364		57	137	4,655	1,222	2	2		45						11
	17	3,362	80	83		74	268	3,867	1,620	47	7		2		1				2
	18	2,750	90	76		142	337	3,395	1,697	45					1				1
胆 振	12	159	238	123		93	56	669	15										
	17	191	182	114		32	126	645	100	1									
	18	117	183	85		38	162	585	99	3									
日 高	12	2	50	1		3		56											
	17	3	34					37											
	18	6	22	4				32											
十 勝	12	2,980	4,940	657		165	130	8,872	5,533	1,924		37		75		119			11
	17	2,435	4,351	408		206	304	7,704	4,544	1,379		18		9		100			2
	18	2,470	4,530	345		308	361	8,014	4,490	1,353		27		4		100			2
釧 路	12	1	12	12				25	28										
	17		7	7		6		20	100	5									
	18		13	6		10		29	97	3									
根 室	12		7	24		6		37	6	1		48							30
	17		8	23		11	2	44	7	3		85							18
	18		7	25		22	3	57	9	3		59							28
計	12	15,800	7,040	1,595		1,130	400	25,965	7,361	2,028		88		252		126			58
	17	13,100	5,710	811		1,448	1,044	22,113	7,401	1,641		109		79		100			32
	18	12,300	5,970	676		1,731	1,176	21,853	7,356	1,505		86		89		100			42

資料：北海道農政部調べ

注：ラウンドの関係で、計と内訳の合計が一致しない場合がある。

(単位：ha)

用途				でん粉主用途						兼用		その他	合計
さやか	スノー ン	きひ ため	小計	紅丸	エニワ	コナ フブキ	サクラ フブキ	アス タルテ	ア リス ターチ	小計	農 1		
			60							0	11	24	909
			63							0	3	45	746
			85								3	69	754
			166	1	1					2		3	1,340
23			312							0		85	1,090
35		2	366							0		38	1,060
			13							0			1,640
			10							0			1,310
			10							0			1,400
			9	9						9	1	2	4,560
15			15	2						2		25	4,420
6			8	1						1		41	4,450
23			42	1		2				3	50	33	1,250
22			135			4				4	25	69	1,080
33			92			1				1	25	103	1,000
49	120		705	58		102	12			172	775	39	3,910
115	180	43	1,175	26		163	5	19		213	98	37	3,390
170	300	61	1,201	27		117		18		162	96	136	3,390
			0	1						1	4		106
			0							0	1		72
0			0	0						0	0		68
			0	2						2	31		43
			0	1						1	8		13
			0	1						1	9		13
78	7		1,367	2,428		8,525	916	380	53	12,302	194	182	18,700
227	178		2,084	731		10,472	166	405	529	12,303	91	255	18,600
282	340		2,366	536		10,217	114	452	579	11,898	75	466	18,200
			15	12		29	1	1		43		1	728
			101	1		2				3		9	758
			102			1				1		10	698
			0							0			56
			0							0			37
			0							0			32
78	198		7,975	887	439	5,152	166			6,644	1,184	25	24,700
696	608	1,106	8,462	339	183	5,851	39	10	15	6,437	321	176	23,100
736	758	1,126	8,596	301	158	5,928	13		5	6,405	268	317	23,600
			28	364		67				431	1		485
			105	317		49			6	372	1	1	499
	5	9	114	233		79			43	355	5	4	507
			85	107		344	17	5	8	481	3	9	615
			113	27		283	20	5	25	360	2	16	535
			99	10		295	22	14	23	364	1	19	540
229	325		10,467	3,869	440	14,220	1,112	386	60	20,087	2,253	328	59,100
1,097	967	1,181	12,607	1,443	183	16,823	229	438	574	19,690	549	741	55,700
1,262	1,374	1,200	13,014	1,110	158	16,638	150	483	650	19,189	484	1,160	55,700

北海道産じゃがいもの用途別消費実績

項目		年度									
		平.元	2	3	4	5	6	7	8	9	
作付面積		68,900	67,500	66,000	67,300	68,700	67,200	65,100	64,600	65,000	
10a当たり収量		3,750	3,850	4,200	3,880	3,770	3,840	3,990	3,610	4,040	
生産量		2,586,000	2,598,000	2,769,000	2,605,000	2,592,000	2,579,000	2,597,000	2,333,000	2,623,000	
用途別需要	自家用	食用	18,300	17,500	21,000	16,400	15,700	15,390	16,200	14,000	12,708
		飼料用	5,000	5,000	5,000	1,000	1,000	400	400	400	256
		種子用	24,700	24,900	26,800	27,100	27,000	26,000	25,800	26,000	17,044
		計	48,000	47,400	52,800	44,500	43,700	41,790	42,400	40,400	30,008
		(比率)	1.9%	1.8%	1.9%	1.7%	1.7%	1.6%	1.6%	1.7%	1.1%
	種子用	道内	111,100	111,700	106,200	108,300	107,800	104,200	103,400	104,000	108,556
		道外	45,800	44,500	43,000	39,000	38,000	35,600	36,300	37,500	38,446
		計	156,900	156,200	149,200	147,300	145,800	139,800	139,700	141,500	147,002
		(比率)	6.1%	6.0%	5.4%	5.7%	5.6%	5.4%	5.4%	6.1%	5.6%
	生食用	道内	76,200	77,200	101,400	91,400	98,100	87,400	81,200	81,200	79,861
		道外	322,200	343,300	365,300	314,400	287,500	296,900	296,600	295,500	298,862
		計	398,400	420,500	466,700	405,800	385,600	384,300	377,800	376,700	378,723
		(比率)	15.4%	16.2%	16.9%	15.6%	14.9%	14.9%	14.5%	16.1%	14.4%
	加工食品用	マッシュポテト	33,300	36,000	30,000	26,000	22,000	13,500	16,000	14,600	16,936
		ポテトチップ	267,100	274,600	313,100	254,900	272,700	267,200	267,200	254,100	269,346
		冷凍加工用	99,700	117,800	144,700	126,600	142,700	142,700	139,900	108,800	130,547
		その他	67,500	73,600	84,600	75,000	77,900	80,200	82,500	118,500	141,514
		計	467,600	502,000	572,400	482,500	515,300	503,600	505,600	496,000	558,343
		(比率)	18.1%	19.3%	20.7%	18.5%	19.9%	19.5%	19.5%	21.3%	21.3%
	でん粉原料用		1,290,700	1,279,700	1,321,900	1,379,000	1,362,000	1,403,000	1,307,000	1,075,000	1,305,936
(比率)		49.9%	49.3%	47.7%	52.9%	52.5%	54.4%	50.3%	46.1%	49.8%	
減耗その他		224,400	192,200	206,000	145,900	139,600	106,510	224,500	203,400	202,988	
(比率)		8.7%	7.4%	7.4%	5.6%	5.4%	4.1%	8.6%	8.7%	7.7%	
計		2,586,000	2,598,000	2,769,000	2,605,000	2,592,000	2,579,000	2,597,000	2,333,000	2,623,000	

資料：農林水産省「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、北海道農政部調べ

注：ラウンドの関係で、計と内訳の合計が一致しない場合がある。

( 単位 : ha、 kg、 t )

10	11	12	13	14	15	16	17	18
62,800	61,400	59,100	58,200	57,900	55,600	55,400	55,700	55,700
3,810	3,670	3,660	3,920	4,060	4,110	4,040	3,860	3,630
2,388,000	2,255,000	2,161,000	2,278,000	2,349,000	2,286,000	2,235,000	2,150,000	2,022,000
13,279	13,598	10,166	12,596	12,000	11,860	12,730	9,160	11,919
86	79	34	15	10	50	0	0	0
10,228	5,287	5,054	8,398	7,390	4,270	6,610	4,310	4,450
23,593	18,964	15,254	21,009	19,400	16,180	19,340	13,470	16,369
1.0%	0.8%	0.7%	0.9%	0.8%	0.7%	0.9%	0.6%	0.8%
106,153	108,373	106,292	106,110	102,650	106,570	103,660	105,988	108,266
36,737	26,850	26,850	24,580	23,580	24,120	25,635	25,390	25,818
142,890	135,223	133,142	130,690	126,230	130,690	129,295	131,378	134,084
6.0%	6.0%	6.2%	5.7%	5.4%	5.7%	5.8%	6.1%	6.6%
70,795	76,040	66,714	50,151	65,043	58,330	76,290	85,290	56,194
284,541	280,602	277,351	290,468	245,961	260,350	245,580	226,717	241,149
355,336	356,642	344,065	340,619	311,004	318,680	321,870	312,007	297,343
14.9%	15.8%	15.9%	15.0%	13.2%	13.9%	14.4%	14.5%	14.7%
17,000	14,721	14,987	20,583	25,807	33,280	39,690	21,570	13,691
273,359	284,521	287,772	277,318	273,260	265,470	264,940	253,400	249,092
106,867	131,162	118,770	109,001	98,779	80,800	96,940	88,710	80,906
83,398	59,614	52,527	59,124	70,926	94,260	59,989	73,280	57,003
480,624	490,018	474,056	466,026	468,772	473,810	461,559	436,960	400,692
20.1%	21.7%	21.9%	20.5%	20.0%	20.7%	20.7%	20.3%	19.8%
1,217,469	1,087,673	1,022,617	1,142,113	1,224,441	1,154,615	1,106,976	1,058,355	944,674
51.0%	48.2%	47.3%	50.1%	52.1%	50.5%	49.5%	49.2%	46.7%
168,088	166,480	171,866	177,543	199,153	192,025	195,960	197,830	228,838
7.0%	7.4%	8.0%	7.8%	8.5%	8.4%	8.8%	9.2%	11.3%
2,388,000	2,255,000	2,161,000	2,278,000	2,349,000	2,286,000	2,235,000	2,150,000	2,022,000

## じゃがいもの消費の推移

(単位：kg/年、g、円/kg)

区分 年度	国民1人 当たり供 給純食料	全国及び都道府県庁所在地(上位5都市)における世帯員1人 当たりの年間購入数量(左)及び平均価格(右)(歴年ベース)													
		全国		第1位		第2位		第3位		第4位		第5位			
平.12	16.2	3,938	221	札幌市 6,203 190		長崎市 5,216 199		神戸市 4,970 254		新潟市 4,948 191		静岡市 4,857 222			
13	15.4	3,785	212	長崎市 5,178 180		札幌市 4,999 180		新潟市 4,994 170		横浜市 4,925 215		熊本市 4,701 214			
14	15.2	3,697	192	新潟市 5,063 149		鹿児島市 5,002 177		札幌市 4,991 150		横浜市 4,810 186		静岡市 4,804 191			
15	15.0	3,628	217	札幌市 5,955 193		横浜市 5,007 226		京都市 4,930 221		静岡市 4,926 209		新潟市 4,838 205			
16	15.1	3,566	221	長崎市 5,086 187		京都市 4,824 224		千葉市 4,667 213		横浜市 4,529 237		徳島市 4,437 216			
17	14.8	3,585	223	新潟市 5,312 191		長崎市 5,051 184		奈良市 4,491 228		富山市 4,475 173		横浜市 4,456 219			
18	15.0	3,608	220	長崎市 5,182 169		新潟市 5,039 195		札幌市 4,861 203		静岡市 4,693 202		岡山市 4,427 226			
19	15.9	3,690	206	新潟市 5,286 177		札幌市 4,760 173		長崎市 4,531 170		横浜市 4,498 208		松山市 4,483 199			
平.19 10月		322	193												
11月		306	176												
12月		296	187												
平.20 1月		310	196												
2月		361	200												
3月		386	204												
4月		378	232												
5月		421	241												
6月		341	221												
7月		200	224												
8月		209	203												
9月		270	201												

資料：農林水産省「食料需給表」、総務省「家計調査」

注：家計調査は平成14年から調査法が変わり、以後の数量と価格の算出法はそれ以前と異なる。

(参考) 国民1人当たり供給純食料の長期推移

(単位：kg/年)

昭.35	40	45	50	55	60	平.2	7
15.8	14.1	12.1	11.7	13.4	13.8	15.5	16.0



各段階（生産・卸・小売）におけるじゃがいもの価格の推移

（単位：円/kg、t）

区分 年度	生産者価格		卸売価格（下段は取扱数量）					小売価格	
	全国 平均	北海道	全国主要 市場計	東京都 中央卸売市場		札幌市 中央卸売市場		東京 都区部	札幌市
				全産地	道産	全産地	道産		
平.15	85	59	116 645,243	126 93,460	110 53,597	83 31,368	80 29,660	285	205
16	85	71	118 621,812	127 88,546	120 52,366	83 32,502	81 30,943	283	216
17	98	71	120 614,921	126 88,046	108 52,901	81 33,504	79 31,975	302	229
18	87	73	114 612,203	122 91,034	112 53,303	81 31,399	78 29,631	295	240
19	75		94 598,402	101 95,234	97 55,077	69 27,362	69 25,417	284	220
平.19 10月	61		74 56,036	84 8,536	85 8,325	69 4,108	68 4,097	278	198
11月	64		78 49,000	87 7,583	86 7,356	59 2,611	59 2,611	266	203
12月	61		80 48,149	89 8,094	87 7,503	50 2,268	51 2,148	263	180
平.20 1月	63		85 47,240	93 8,208	88 6,164	38 2,848	38 2,828	268	180
2月	58		94 55,562	96 9,348	85 6,474	58 1,709	59 1,689	269	214
3月	94		101 56,962	102 9,988	87 6,990	57 1,749	57 1,748	278	203
4月	128		131 56,430	122 9,961	87 5,744	53 1,862	53 1,855	282	215
5月	98		121 61,727	121 10,697	99 1,954	74 1,461	65 1,214	301	213
6月	107		136 46,023	147 7,373	119 633	90 1,476	64 999	305	234
7月	113		119 32,952	132 5,254	117 399	102 1,501	97 1,295	307	234
8月	65		98 37,262	103 5,833	107 4,107	76 2,706	76 2,706	285	234
9月	74		97 49,269	106 7,601	107 7,182	72 3,675	72 3,675	272	221

資料：農林水産省「農作物価統計」（北海道分は19年以降非公表）「青果物卸売市場調査」「青果物流通統計」、東京都「東京都中央卸売市場年報」「同月報」、札幌市「札幌市中央卸売市場年報」「同月報」、総務省「小売物価統計調査」

じゃがいも及び関連製品の輸入の推移

(単位：t、円/kg)

	生鮮・冷蔵 じゃがいも		冷凍 じゃがいも		じゃがいも 粉・フレーク等		その他の調製品		
	ポテトチップスの原料 など		フレンチフライ(冷凍) など		成型ポテトチップスの 原料 など		ポテトチップス、じゃが いもが主原料のレトルト 食品 など		
	輸入量	単価	輸入量	単価		単価	輸入量	単価	
平.2	0	0	130,794	152	16,317	228	718	356	
7	6	54	199,613	102	27,261	102	19,919	350	
12	73	64	272,987	101	23,519	118	18,714	436	
13	11	75	274,237	110	20,580	115	13,842	531	
14	10	126	266,984	111	18,341	130	12,040	485	
15	0	0	239,250	105	18,584	128	13,458	444	
16	5	63	268,443	102	18,926	109	10,810	400	
17	55	72	281,071	104	20,756	111	12,833	406	
18	451	65	301,326	112	21,006	136	12,188	458	
19	1,273	66	308,351	118	22,614	162	14,123	490	
国別内訳	1位	米 国	米 国	米 国	米 国	米 国	米 国	米 国	
		1,273	66	240,664	118	19,302	163	6,541	548
	2位		カナダ	ドイツ	中国	中国	中国	中国	
			39,419	116	2,012	158	3,564	304	
	3位		中国	オランダ	ベルギー	ベルギー	ベルギー	ベルギー	
			12,997	119	736	160	2,903	627	
	4位		ベルギー	中国	オランダ	オランダ	オランダ	オランダ	
		5,217	123	327	156	523	346		
5位		ニュージーランド	カナダ	英国	英国	英国	英国		
		4,935	112	232	160	230	285		
6位 以下		ドイツ、エジプト など	ポーランド	イタリア、マレーシ ア など	イタリア、マレーシ ア など	イタリア、マレーシ ア など	イタリア、マレーシ ア など		
		5,119	168	5	319	361	530		

資料：財務省「貿易統計」

注：生鮮・冷蔵じゃがいもは実行関税率表（2008年4月版）の統計品目番号の{0701.90-000}、  
冷凍じゃがいもは{0710.10-000}、{2004.10-100}{-210}{-220}、  
じゃがいも粉・フレーク等は{1105.10-000}{.20-000}、  
その他の調製品は{0712.90-050}、{1905.90-314}{-323}、{2005.20-100}{-210}{-220}  
としている。

## 馬鈴しょでん粉の生産動向

### 1. でん粉の主な用途

区 分			主な用途	
でん粉	加工して利用	糖 化 品	異性化糖	清涼飲料、調味料、パン、酒類（酎ハイ）
			水あめ	酒類（発泡酒）、キャンディ
			ぶどう糖	医薬（輸液糖）、菓子類、酒類（清酒）
		化 工 でん粉	可溶性でん粉	麺類、インスタント食品、繊維
			でん粉誘導體	冷凍食品、製紙、繊維
	デキストリン		経腸栄養剤、調味料、接着剤、粘着テープ、繊維	
		アルファでん粉	麺類、菓子、養鰻用飼料、製紙、洗濯のり	
		グルタミン酸ソーダ	化学調味料	
	そのまま利用	繊維、製紙、ダンボール		
		ビ ー ル		
食 品		片栗粉、水産練製品、麺類、インスタント食品		
医薬品・その他		オブラート、錠剤、バイオプラスチック、化粧品、合板、建材等		

### 2. でん粉需給の推移

(単位：t)

区分 でん粉年度	需要の用途別内訳						合 計	供給の種類別内訳				
	糖 化 品	化 工 でん粉	繊維・製紙・ダンボール	ビール	水産練製品	その他 (片栗粉、麺類等)		かんしょでん粉	馬鈴しょでん粉	コーンスターチ	輸入でん粉 (タピオカ等)	小麦でん粉
平.2	1,671	386	205	147	64	366	2,839	133	260	2,279	119	48
7	1,681	393	255	164	39	317	2,849	82	239	2,379	118	30
12	1,865	441	259	153	34	286	3,038	67	232	2,553	157	29
17	1,947	421	229	127	21	262	3,008	54	231	2,561	141	21
18	1,949	419	220	123	20	247	2,978	57	240	2,517	144	20
19 (見通し)	1,870	420	222	121	20	247	2,899	42	228	2,472	136	21

資料：農林水産省「でん粉に関する協議会」資料

注1：でん粉年度とは、当年10月～翌年9月までを指す。

2：かんしょでん粉は主に糖化製品、馬鈴しょでん粉は糖化製品や片栗粉、麺類等、コーンスターチは糖化製品や製紙・ダンボール、ビール等、輸入でん粉は糖化製品や冷凍食品、接着剤等、小麦でん粉は主に水産練製品やのり等に使用される。

3：ラウンドの関係で、計と内訳の合計が一致しない場合がある。

### 3. 馬鈴しょでん粉生産量の推移

(単位：t、%)

区分 でん粉年度	合 計			うち系統工場			うち商系工場		
	正味原料 擦込数量	でん粉 生産数量	歩 留	正味原料 擦込数量	でん粉 生産数量	歩 留	正味原料 擦込数量	でん粉 生産数量	歩 留
平.2	1,279,745	235,861	18.4	1,100,299	205,418	18.7	179,446	30,443	17.0
7	1,306,713	262,303	20.1	1,147,423	233,239	20.3	159,290	29,064	18.2
12	1,002,617	208,030	20.7	940,470	198,123	21.1	62,147	9,907	15.9
17	1,058,355	230,795	21.8	990,154	219,802	22.2	68,201	10,993	16.1
18	944,674	206,557	21.9	884,228	196,405	22.2	60,446	10,152	16.8
19	1,119,475	237,897	21.3	1,039,826	224,274	21.6	79,649	13,623	17.1

資料：北海道農政部調べ

注1：系統工場とは農業協同組合系統の工場で道内に10工場、商系工場とはそれ以外の株式会社等の工場道内に7工場ある（工場数は平成20年3月末現在）。

2：商系委託加工分は系統工場生産量に、系統委託加工分は商系工場生産量に含む。

## 種馬鈴しょの生産動向等

### 1. 種馬鈴しょほ場（原原種、原種、採種ほ）の設置状況の推移

区分 年度	原原種			原種					採種				
	品種数	設置面積 (ha)	配布数量 (袋)	品種数	設置面積 (ha)	合格面積 (ha)	合格割合 (%)	生産数量 (千袋)	品種数	設置面積 (ha)	合格面積 (ha)	合格割合 (%)	生産数量 (千袋)
平.2	22	83.2	60,671	16	619	619	100	901	15	5,646	5,627	99.6	7,948
7	30	74.2	59,984	21	604	604	99.9	857	19	5,467	5,404	99.7	7,957
12	40	74.5	59,803	33	604	604	100	879	26	5,223	5,208	99.7	7,748
17	51	67.6	60,876	48	587	587	100	931	42	4,927	4,917	99.8	7,531
18	50	64.9	59,886	51	581	578	99.6	915	46	5,028	5,004	99.5	7,839
19	51	64.6	50,843	48	572	571	99.8	961	46	5,028	5,015	99.8	8,199

資料：原原種は、独立行政法人種苗管理センター調べ（数値は道内農場分）

原種及び採種は、農林水産省横浜植物防疫所の種馬鈴しょ検査成績

注：合格面積とは、横浜植物防疫所による検査の合格面積を指す。

### 2. 主な北海道内向け馬鈴しょ原原種の生産農場

名称	設置場所	配布数量 (平.19)	主要配布地	主要生産品種
(独)種苗管理センター 北海道中央農場	北広島市	3,757袋	十勝、北見、空知、上川、石狩	スノーデン、アスタルテ、ナツフブキ、十勝こがね、ノーキングラセット
" 胆振農場	勇払郡 安平町	15,900袋	網走、十勝、檜山、空知、上川	コナフブキ、男爵薯、メイクイン、さやか
" 北海道中央農場後志分場	虻田郡 真狩村	9,976袋	網走、十勝、後志、上川	コナフブキ、男爵薯、トヨシロ、キタアカリ
" 十勝農場	帯広市	21,026袋	十勝、網走、空知、上川	男爵薯、メイクイン、コナフブキ、トヨシロ
" 上北農場	青森県 上北郡 七戸町	8,382袋	網走、十勝、上川、空知、後志、檜山	男爵薯、メイクイン、キタアカリ、トヨシロ
" 孺恋農場	群馬県 吾妻郡 孺恋村	465袋	網走、十勝、空知、石狩	デジマ、アンデス赤、普賢丸、アイユタカ

資料：独立行政法人種苗管理センター調べ

### 3. 植物防疫所による防疫検査合格の基準

区分	基準内容
使用予定 種馬鈴 しょ検査	(1) 独立行政法人種苗管理センター産のもの (2) 上記を用いて道県の直接管理する原種ほ場において増殖されたもの。 (3) 植物防疫官が採種用馬鈴しょとして適当と認め、植付前に消毒が実施されたもの。
植付予定 ほ場検査	(1) ジャガイモシストセンチュウの発生していない地域にあるか又は発生している地域にあっては、土壌検診の結果、ジャガイモシストセンチュウが検出されないこと。 (2) 高冷地にあるか又はアブラムシ及びヨコバイの発生が比較的少ない地域にあり、かつ、ほ場に隣接する土地に馬鈴しょウイルス病に罹病しているナス科の植物が生育していない等、生産に適した条件にあると認められること。
各期ほ場 検査	(1) ジャガイモシストセンチュウの付着を認めないこと。 (2) ウイルス病株、異常株及び青枯病病株を認めないこと。 (3) 全生育期間を通じ輪腐病の発生が全くないこと。 (4) 疫病病株又は黒あざ病病株の被害の程度の著しいものの割合が、植付株数の1割を超えないこと。 (5) 馬鈴しょウイルス病を媒介するアブラムシ及びヨコバイの発生の程度が軽微であること。
生産物検査	(1) ジャガイモガによる被害を認めないこと。 (2) ジャガイモシストセンチュウの付着を認めないこと。 (3) そうか病、粉状そうか病、黒あざ病及び疫病の被害の軽微なものの合計が、全体の1割を超えないこと。 (4) くわ、有害動物等により、損傷を受けたものがないこと。

じゃがいもの主な栄養成分（可食部100g当たり）

品名	エネルギー	水分	たんぱく質	脂質	炭水化物	無機質		
						カリウム	カルシウム	マグネシウム
	(kcal)	(g)	(g)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	(mg)
じゃがいも（生）	76	79.8	1.6	0.1	17.6	410	3	20
じゃがいも（蒸し）	84	78.1	1.5	0.1	19.7	330	2	20
じゃがいも（水煮）	73	81.0	1.5	0.1	16.8	340	2	18
フライドポテト	237	52.9	2.9	10.6	32.4	660	4	35
さつまいも（生）	132	66.1	1.2	0.2	31.5	470	40	25
さつまいも（焼き）	163	58.1	1.4	0.2	39.0	540	34	23
さといも（生）	58	84.1	1.5	0.1	13.1	640	10	19
さといも（水煮）	59	84.0	1.5	0.1	13.4	560	14	17
ながいも（生）	65	82.6	2.2	0.3	13.9	430	17	17
精白米	356	15.5	6.1	0.9	77.1	88	5	23
ごはん（精白米）	168	60.0	2.5	0.3	37.1	29	3	7
薄力粉（1等）	368	14.0	8.0	1.7	75.9	120	23	12
食パン	264	38.0	9.3	4.4	46.7	97	29	20
うどん（ゆで）	105	75.0	2.6	0.4	21.6	9	6	6
レタス（生）	12	95.9	0.6	0.1	2.8	200	19	8
バナナ（生）	86	75.4	1.1	0.2	22.5	360	6	32
りんご（生）	54	84.9	0.2	0.1	14.6	110	3	3

資料：文部科学省科学技術・学術審議会資源調査分科会報告「五訂増補日本食品標準成分表」

注：掲載した栄養成分（一般成分を除く）の説明と摂取基準は次表のとおり。

栄養成分	説明	食事摂取基準	
		男	女
カリウム	細胞内の浸透圧維持、細胞の活性維持等を担っている。食塩の過剰摂取や老化によりカリウムが失われ、細胞の活性が低下することが知られている。必要以上に摂取したカリウムは、通常、迅速に排泄されるが、腎機能低下によりカリウム排泄能力が低下すると、摂取の制限が必要になる。	目安量(mg/日)	
		2,000	1,600
		2,000	1,600
		2,000	1,600
カルシウム	骨の主要構成要素の一つであり、ほとんどが骨歯牙組織に存在している。細胞内には微量しか存在しないが、細胞の多くの働きや活性化に必須の成分である。また、カルシウムは、血液の凝固に関与しており、血漿における濃度は一定に保たれている。成長期にカルシウムが不足すると成長が抑制され、成長後不足すると骨がもろくなる。	目安量(mg/日)	
		900	700
		650	600
		700	700
マグネシウム	骨の弾性維持、細胞のカリウム濃度調節、細胞核の形態維持に関与するとともに、細胞がエネルギーを蓄積、消費するときに必須の成分である。多くの生活習慣病やアルコール中毒の際に細胞内マグネシウムの低下が見られ、腎機能が低下すると高マグネシウム血症となる場合がある。	目安量(mg/日)	
		340	270
		370	280
		350	290
ビタミンB <sub>1</sub>	各種酵素の補酵素として糖質及び分岐鎖アミノ酸の代謝に不可欠である。欠乏により、倦怠感、食欲不振、浮腫などを伴う脚気(かっけ)、ウエルニッケ脳症、コルサコフ症候群等が起こることが知られている。	推奨量(mg/日)	
		1.4	1.1
		1.4	1.1
		1.3	1.0
ビタミンB <sub>2</sub>	フラビン酵素の補酵素の構成成分として、ほとんどの栄養素の代謝にかかわっている。欠乏により、口内炎、眼球炎、脂漏性皮膚炎、成長障害等が起こることが知られている。	推奨量(mg/日)	
		1.6	1.2
		1.6	1.2
		1.4	1.2
ナイアシン	体内で同じ作用を持つニコチン酸、ニコチン酸アミド等の総称であり、酸化還元酵素の補酵素の構成成分として重要である。生体中に最も多量に存在するビタミンである。欠乏により、皮膚炎、下痢、精神神経障害を伴うペラグラ、成長障害等が起こることが知られている。	推奨量(mg/日)	
		15	12
		15	12
		14	11









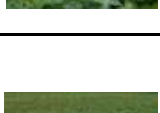






資料：日本人の栄養所要量 - 食事摂取基準 - 策定検討会報告「日本人の食事摂取基準（2005年版）」

ビタミン							食物繊維			廃棄率
ビタミン B <sub>1</sub>	ビタミン B <sub>2</sub>	ナイアシン	ビタミン B <sub>6</sub>	葉酸	パントテン酸	ビタミン C	水溶性食物繊維	不溶性食物繊維	総量	
(mg)	(mg)	(mg)	(mg)	(μg)	(mg)	(mg)	(g)	(g)	(g)	(%)
0.09	0.03	1.3	0.18	21	0.47	35	0.6	0.7	1.3	10
0.05	0.02	0.8	0.18	22	0.52	15	0.6	1.2	1.8	6
0.06	0.03	0.8	0.18	18	0.37	21	0.5	1.1	1.6	0
0.12	0.06	1.5	0.35	35	0.71	40	1.0	2.1	3.1	0
0.11	0.03	0.8	0.28	49	0.96	29	0.5	1.8	2.3	10
0.12	0.06	1.0	0.33	47	1.30	23	1.1	2.4	3.5	10
0.07	0.02	1.0	0.15	30	0.48	6	0.8	1.5	2.3	15
0.06	0.02	0.8	0.14	28	0.42	5	0.9	1.5	2.4	0
0.10	0.02	0.4	0.09	8	0.61	6	0.2	0.8	1.0	10
0.08	0.02	1.2	0.12	12	0.66	0	Tr	0.5	0.5	0
0.02	0.01	0.2	0.02	3	0.25	0	0	0.3	0.3	0
0.13	0.04	0.7	0.03	9	0.53	0	1.2	1.3	2.5	0
0.07	0.04	1.2	0.03	32	0.47	0	0.4	1.9	2.3	0
0.02	0.01	0.2	0.01	2	0.13	0	0.2	0.6	0.8	0
0.05	0.03	0.2	0.05	73	0.20	5	0.1	1	1.1	2
0.05	0.04	0.7	0.38	26	0.44	16	0.1	1	1.1	40
0.02	0.01	0.1	0.03	5	0.09	4	0.3	1.2	1.5	15

栄養成分	説明	食事摂取基準	
		男	女
ビタミン B <sub>6</sub>	ピリドキシン、ピリドキサル、ピリドキサミン等、同様の作用を持つ10種以上の化合物の総称で、アミノトランスフェラーゼ、デカルボキシラーゼ等の補酵素として、アミノ酸及び脂質の代謝、神経伝達物質の生成等に関与する。欠乏により、皮膚炎、動脈硬化性血管障害、食欲不振等が起こることが知られている。	推奨量(mg/日)	
		1.4	1.2
		1.4	1.2
		1.4	1.2
葉酸	補酵素として、プリンヌクレオチドの生合成、ピリジンヌクレオチドの代謝に関与し、また、アミノ酸及びたんぱく質の代謝においてビタミンB <sub>12</sub> とともにメチオニンの生成、セリン-グリシン転換系等にも関与している。特に細胞の分化の盛んな胎児にとっては重要な栄養成分である。欠乏により、巨赤芽球性貧血、舌炎、二分脊柱を含む精神神経異常等が起こることが知られている。	推奨量(μg/日)	
		240	240
		240	240
		240	240
パントテン酸	補酵素であるコエンザイムA及びアシルキャリアータンパク質の構成成分であり、糖及び脂肪酸の代謝における酵素反応に広く関与している。欠乏により、皮膚炎、副腎障害、末梢神経障害、抗体産生障害、成長障害等が起こることが知られている。	目安量(mg/日)	
		6	5
		6	5
		6	5
ビタミン C	生体内の各種の物質代謝、特に酸化還元反応に関与するとともに、コラーゲンの生成と保持作用を有する。さらに、チロシン代謝と関連したカテコールアミンの生成や脂質代謝にも密接に関与している。欠乏により壊血病等が起こることが知られている。食品中のビタミンCは、L-アスコルビン酸(還元型)とL-デヒドロアスコルビン酸(酸化型)として存在する。	推奨量(mg/日)	
		100	100
		100	100
		100	100
食物繊維	消化管機能や腸の蠕動(ぜんどう)運動の促進、栄養素の吸収を緩慢にしたりする等さまざまな生理作用が知られており、今後の研究の発展によりさらにその有用性が広がる可能性もある。水溶性食物繊維と不溶性食物繊維では生理作用に違いがあるといわれている。	目安量(g/日)	
		27	21
		26	20
		24	19

注：「食事摂取基準」欄の「目安量」は「推定平均必要量・推奨量を算定するのに十分な科学的根拠が得られない場合に、その階級に属する人々が良好な栄養状態を維持するのに十分な量」を、「推奨量」は「その階級に属する人々のほとんど(97~98%)が1日の必要量を満たすと推定される1日の摂取量」を指し、上から「18~29歳」「30~49歳」「50~69歳」の数値である。

## 北海道におけるじゃがいもの栽培暦

時期	生育ステージ	作業ステージ
3月 下		
4月 上 中 下		浴光育芽 (浴光催芽)  浴光育芽
5月 上 中 下		植付始 (4月27日)  植付  ソイルコンディショニングシステムによる植付
5月 中 下	萌芽期 (5月29日) 	植付終 (5月10日)
6月 上 中 下	着蕾期 (6月18日) 	中耕・培土  早期培土
7月 上 中 下	開花期 (6月30日) 	一般的な培土 
7月 中 下	終花期 (7月25日) 	病害虫防除  病害虫防除
8月 上 中 下	茎葉黄変期 (8月21日) 	収穫始 (8月28日)  茎葉処理
9月 上 中 下	茎葉枯凋期 	収穫 
10月 上 中		収穫終 (10月11日)  ソイルコンディショニングシステムによる収穫

注：( )内の月日は全道平均の平年値

### (参考) 各作業の説明

浴光育芽 (浴光催芽)	20～30日程度、日光に当てて、短く太い芽を育てます。これにより、萌芽が促進され、生育が均一になります。
植付	ポテトプラント(植付機)で肥料とともに植付けます。近年はいもを自動的に切断しながら植付けるカッティングプラントが主流です。新しい栽培技術であるソイルコンディショニングシステムでは、専用の深植えプラントにより、培土も同時に行います(植付前に、ベッドフォーマ、セパレータにより土塊や石礫を除去する)。
中耕・培土	萌芽の前後に行う中耕により除草を行います。その後、着蕾期までに2度程度行う培土(土寄せ)により、いもが肥大するために必要な場所を作り、肥大したいもの日焼け(緑化)を防ぎ、疫病菌などの侵入を防止します(萌芽前に培土をすることで中耕を省略する方法もある(早期培土))。
病害虫防除	ウイルス病を媒介するアブラムシや疫病など病害虫に合わせて、数回防除(農薬散布等)を行います。
収穫	茎葉黄変期以降、茎葉処理(収穫作業でじゃまになる茎葉(地上部)を処理すること。これにより天候により茎葉枯凋が遅れることなく、計画的な市場出荷が可能となる)を行い、ポテトハーベスタ(収穫機)で収穫します。ソイルコンディショニングシステムでは、大型のポテトハーベスタ等により、より効率的に収穫が行われます。